

## お知らせ

自立支援医療（精神通院）・精神障害者保健福祉手帳の継続申請は、有効期限の3か月から可能です。お手元の受給者証・手帳の有効期限を今一度ご確認ください。早めの申請をお願いいたします。申請窓口は各保健センターになります。

## わかちあいの会（自死遺族の集い）のご紹介

「大切な人を突然失う」それはとても悲しくつらいことです。多くの方は自死であるということで、誰にも話すことができず、たった一人でつらい思いを抱えています。また、「どうして気づいてあげられなかったのだろう」「もし、あの時一緒にいたら……」と自責の念が募ったり、ときに抱えきれない感情があふれ出たり、眠れなかったり…自死により大切な方をなくしてしまったとき、心と体にはいろいろな変化がおこります。

こころの健康センターでは自死でご家族や親しい人をなくされたご遺族の方の集いを開催しています。ご自身のつらい体験や気持ちを安心して語り、他の人の話を聴いて、悲しみを分かち合う場です。どうぞ勇気をだして参加してみてください。

参加をご希望の方は、相談専用電話（086-803-1274）までご連絡ください。

日時：毎月第2火曜日 13:30～15:30

場所：岡山市保健福祉会館4階 ほのぼのルーム

## 安心した地域生活にむけてがんばっています。～地域移行支援事業～

岡山市では、精神障害者の方が住みなれた地域で生活することができるように、「地域移行・地域定着支援事業」を実施しています。現在、市内の4つの精神科病院に、こころの健康センターの職員が定期的に訪問し、スタッフと一緒に退院に向けてのグループ活動等を行っています。これらの活動をとおして、看護師等病棟スタッフとも協働する機会が増え、病棟全体での退院支援につながっています。

また、グループ活動で実施したピアサポーターとの交流で、当事者もスタッフも勇気づけられたことから、病棟全体とピアサポーター、グループから退院したOBとの「地域・病院交流会」も実施し、60人の参加がありました。

さらに、「地域定着支援」として、危機介入を中心とした往診・訪問活動に、当センター、地域の診療所、地域活動支援センター、訪問看護ステーション等でチームを組み、支援を実施しています。



岡山市こころの健康センター相談電話 **086-803-1274**

時間 9:00～12:00 13:00～16:00（月曜日から金曜日まで祝祭日は除く）



岡山市こころの健康センター

〒700-8546 岡山市北区鹿田町一丁目1-1 岡山市保健福祉会館4階 TEL 086-803-1273 FAX 086-803-1772

ホームページ：<http://www.city.okayama.jp/hofuku/kokoroc/>

## ひきこもり地域支援センターについて

所長 太田 順一郎



岡山市こころの健康センターは、設置2年目の今年度半ばに「ひきこもり地域支援センター」を開設しました。この「ひきこもり地域支援センター」というのは、現在厚生労働省が進めている「ひきこもり対策推進事業」の中で地域におけるひきこもり支援対策の「核」となるべき機関とされているもので、その機能として①第1次相談機関としての役割を担う、②各関係機関のネットワークの連携強化を図る、③地域のひきこもり対策にとって必要な情報を広く提供する、の3点が強調されています。平成22年7月から始まったこの事業は、「ひきこもりに特化した相談窓口がないため、ひきこもり本人又は家族が相談に十分に結びついていない」「ひきこもりの支援は長期間に及ぶことから、各段階に応じた対応が必要となるが、各関係機関のネットワークが十分でない」「ひきこもり各関係機関における専門職員の知識や支援技術が十分でない」「ひきこもり本人又は家族に必要な情報が届いていない」などの厚生労働省の現状認識をもとに、そのような現状を打開するための中心機関として整備され始めたものです。現在岡山市を含め29か所のひきこもり地域支援センターが全国に設置されています。

ひきこもり地域支援センターを開設して約5か月が経過しましたが、現在までに約80件の相談電話と約40件の来所相談があり、約40件の来所相談のうち4分の1くらいはひきこもりの本人が来所されています。ひきこもり地域支援センターに持ち込まれる相談は多様で、ニーズもさまざまです。今回開設したひきこもり地域支援センターは、その一部を平成22年については民間のNPOである「リスタート」に委託しています。私たちだけでは十分に用意できない「居場所支援」「社会参加体験」「就労体験・支援」などについては十分にその経験を発揮していただくものと期待しています。また、現役の大学生・大学院生のボランティアによる「ひきこもりサポーター」も養成しています。彼らは小・中・高校生のひきこもりの方々への訪問支援の主力として活躍してくれるものと楽しみにしています。

# 岡山市ひきこもり地域支援センターのご紹介

「息子が中学生の頃からひきこもっている」  
 「外に出ようとしない娘にどう接してよいか分からない」など  
 ひきこもりについて悩みやお困りのことはありませんか？  
 ひきこもり状態にあるご本人やご家族の方などのご相談をお受けします。  
 お一人で悩まず、まずはご相談ください。



**ご利用できる方** 岡山市内在住のひきこもり状態にある本人やその家族など

**ご利用方法** 電話、来所等により相談をお受けします。

**電話相談** 毎週 水曜日、金曜日（祝日、年末年始を除く）

9：30～12：00 / 13：00～15：00

**専用電話** 086-803-1326

**来所相談** 予約制です。まずは専用電話にお電話ください。

**費用** ご利用は無料です。



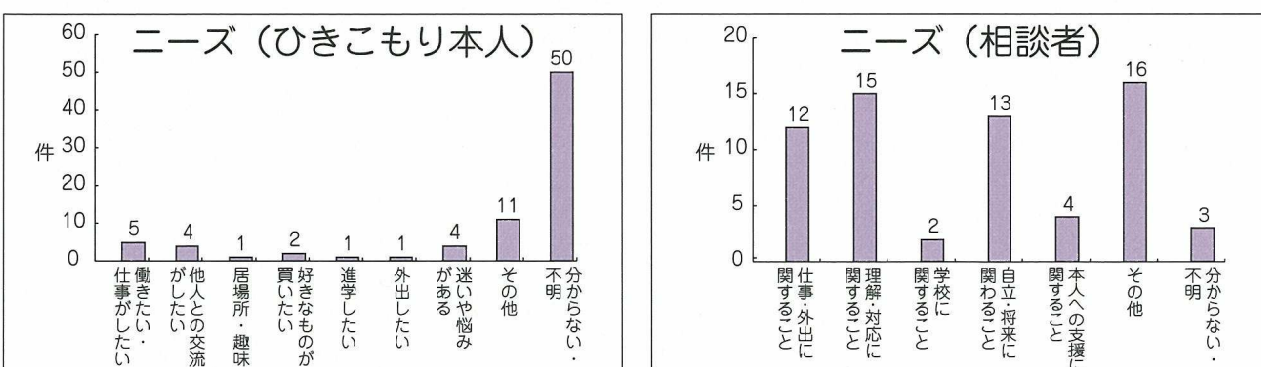
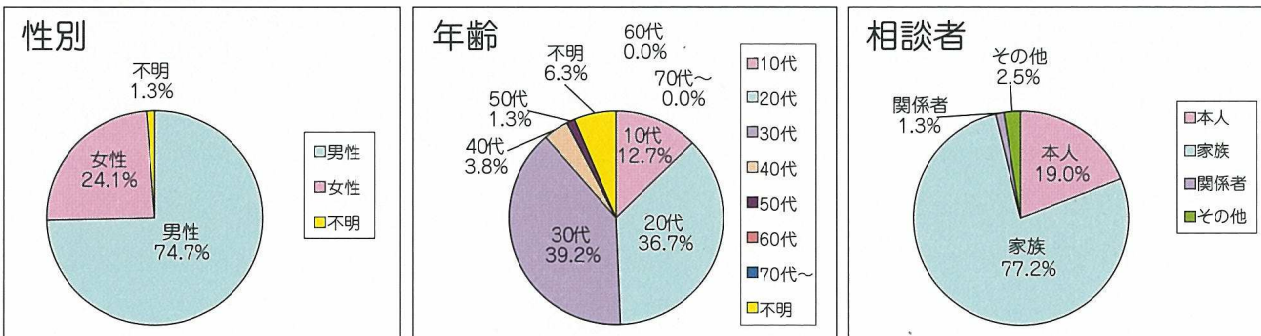
## ひきこもりとは…??

学校への登校、アルバイトや仕事といった外との交流を避け、原則的に6か月以上にわたって、家庭にとどまりつづけている状態をいいます。ただし、ひきこもりの方の中には、ドライブや買い物のような、人と直接的な交流をもたないような外出が可能な方も含まれます。

（厚生労働省の定義より）

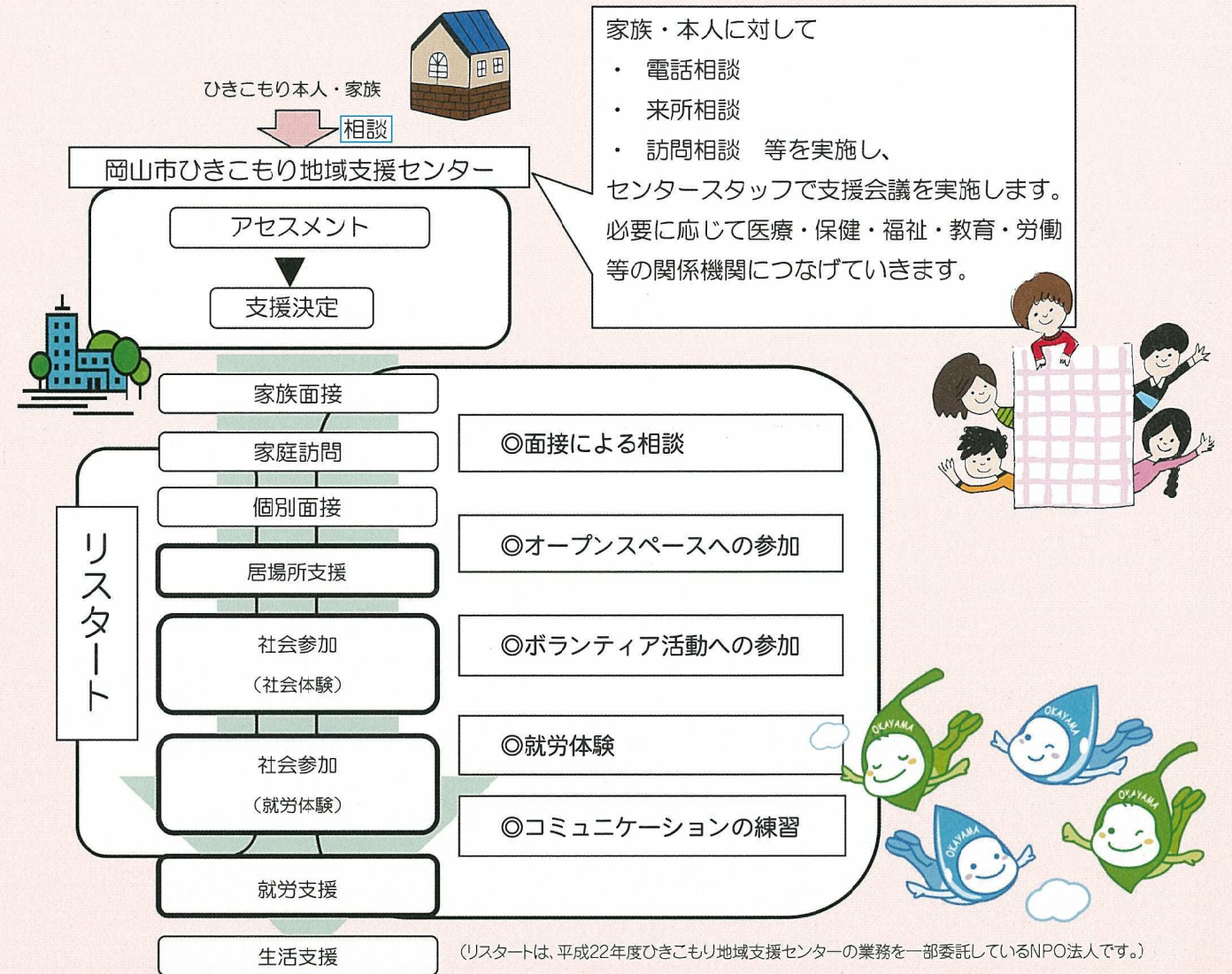
## 電話相談内訳

平成 22 年 12 月末現在



※本人からの相談は除く  
 岡山市ひきこもり地域支援センター統計より(平成22年7月～平成22年12月)

# 岡山市ひきこもり地域支援センター 支援の流れ



## \*ひきこもりサポーターのご紹介\*

ひきこもりサポーターは心理学や教育学などを勉強している学生です。お兄さん・お姉さんのような身近な相談相手として、外出や他者との関わりに困難を感じている方のところうかがって、お話をきいたり一緒に過ごすことをとおして、本人さんが元気を回復していくお手伝いをしています。利用を希望される方はこちらの健康センターまでご連絡ください。（サポーター利用が有効だと判断された場合に派遣します。）

## 岡山市ひきこもり地域支援センター開設記念講演会を開催しました。

平成 22 年 8 月 20 日 13：30～16：00 場所：さん太ホール  
 後援：(社)岡山市医師会、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会

講演会には、市民や関係者ら約 200 名の参加がありました。記念講演では、川崎医科大学教授 青木省三先生から「ひきこもりを考える」～ひきこもる若者への支援から～という内容で、講演をしていただきました。

また、「地域で何ができるか」という題で、岡山市こころの健康センター所長より、岡山市ひきこもり地域支援センターの紹介を行いました。

